1次評価のみ

	コード		名	称	区分	コード		名		称	
					会計	01	一般会計				
事業名	752	情報化教育推進事業			款	10	教育費				
					項		教育総務費				
基本				目	03	義務教育振興費					
施策	31	国日と中はい	1日を仲はし、多を追い木のられる教育を進める		細目	413	情報化教育推進経費				
行革ノ	は縄の1	重点事項番号	7		細々目	01	情報化教育推進経費				
担当部	钾夕	コード	4	50100	担当者氏名	澤	■■■	連絡先	47	- 1280	
변크마	<b>环</b> 口	名称	教育委員	会教育総務課	四日日氏石	/7	日坦	建附兀	(内線)	565	

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)				市内小	\中学校	※対象件数	35校			
成果(どうする)					ト中学校の情報ネットワークを維持管理し、校務の効率化及び情報教育の充実を図る。また、ネットワークの 安定・効率化を図るため、各小中学校を光回線で結び、センターサーバーでの一括した管理運用を目指す。					
根拠	<u>l</u> 法令	・要綱	等	伊賀市	教育委員会会	議規則				
開始年 終了年	ļ	平成 平成	16	年度 年度	関連事業					
H23 事 業 内 容	小中	学校の	の情報	゚゚ネット「	フークの保守管	理業務を委託する。				
社会情 変化							_			

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

建品		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位	実績値				目標値		
活	旧保口	平位		H22		H23	H24	H25	
動	教職員情報職員研修	校	目標	3	目標	6	4	4	
押		TX.	実績	6	実績	6	4	4	
標			目標		目標				
			実績		実績				

	指標名	指標設定の考え方単位			実	績値	目標値		
成	1617572	111未以足の考え力	<u> </u>		H22		H23	H24	H25
果	光回線整備	光回線整備済校数	校	目標	34	目標	36	35	35
指	九四脉金哺	九回称罡哺冲仪奴		実績	36	実績	36	35	
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按争未其訂(A)	22,605	17,902	17,933	18,000
投	Α	国庫支出金				
수	ရု	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
	訳	一般財源	22,605	17,902	17,933	18,000
		事業投入人件費(B)	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>
		フルコスト (A)+(B)	24.765	20.062	20,093	20,160

# 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備者欄(特記事項)
	【必1】法律(冬例は除く)で宝施が萎発付けられている事業		M 7 M (14 L) 子久/
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活 【必2】の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	【必4】 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
ιżχ	「必6」市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
'-	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【必10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	0	
	【必11】 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【必12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[必i3]【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	O	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	<b>姜</b> 策】	
成	子質の過越の方無		
度	【達2】 アチの緑色の有紙 [ <del>派</del> ] 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	甘大坂年の山で紹州・黄塩ナス東攻東学がなる		
効	【効2】 本予心束の中で対似・主候する手材手来がある。 【事業名】		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
性	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	************************************		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

	昨十戌の計	山和米に基 2、以音泉への取り組み仏法
	改善策	*デジタルテレビや電子黒板の活用研修会を今年度2回以上行い、次代の学校にふさわしい教育環境の充実を推進する。 *情報漏洩を阻止するため、 平成23年度から学校セキュリティポリシーを施行した。
	昨年度の 取組状況	【状況】     計画のとおり進んでいる       【詳細】
		新規採用者向け研修も含め、パソコンの活用研修及びセキュリティポリシーの研修を年6回実施することが出来た。

担当課長氏名	伊室	春利							
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】 システムの保守点検委託料等であり、現状のまま事業を継続することが妥当である。								
現時 スの外	平成21年度のIの る。 情報漏えい対策								
	情報漏洩を阻止		引研修会を今年度2回以上行い、次代の 23年度から学校セキュリティポリシーを	学校にふさわしい教育環境の充実を推進する。 -施行した。					

	コード		名 称	ī	区分	コード		名		称	
		756 小学校スクールバス運行事業			会計	01	1 一般会計				
事業名	756				款	10	教育費				
				項	02	小学校費					
基本	31	31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める				01	学校管理費				
施策	31	間はで呼ばい	スタで担い不のり4い	<b>夕を追い水のられる教育を進める</b>			学校管理経	費			
行革オ	く綱の!	重点事項番号	}		細々目	02	スクールバス運転管理及び維持経費			}	
担当部	钾夕	コード	45010	0	担当者氏名	中i	西 克尚	連絡先	47 -	- 1280	
THIP	<b></b> 不口	名称	教育委員会教	育総務課	担当有人有	"'	四 元问	连附九	(内線)		565

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)				スクールバスを導入している小学校の児童及びその保護者 ※対象件数 7校								
成果(どうする)				安心・気	で心・安全な通学を確保することができる。							
根拠法令・要綱等			<u> </u>									
11.01.00			16	年度	関連事業							
終了年	- 医	平成		年度								
H23 事 業 内		(クール) (クール)										
		校区再 確保す		の進	展により児童の	)通学距離が長くなっているため、スクールバスを運行することによって、安全	≧な登下校を					

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

里耳	<b>体制</b> (一施設(	の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	Ι	]	]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	標値
活	111朱七	平位	H22		H23		H24	H25
動指	スクールバス利用児童数	1	目標	340	目標	340	360	360
	ヘソールハヘ利用児里奴	^	実績	345	実績	359	300	
標			目標		目標			
			実績		実績			

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	目標値			
成	111771	間保政というたり	<u> </u>		H22		H23	H24	H25
果	登下校時における児童の事故件	スクールバスを導入することによって登下校	件	目標	0	目標	0	0	0
指	数	時に不審者や交通事故から児童を守る	1+	実績	0	実績	0	U	U
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按学术其前(A)	51,209	54,605	53,679	62,000
投	Α	国庫支出金	1,026	1,066	1,995	1,000
4	၉	県支出金				
7 7	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	50,183	53,539	51,684	61,000
		事業投入人件費(B)	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>
		フルコスト (A)+(B)	53,369	56,765	55,839	64,160

# 事務事業の評価(Check)

		_	
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	[必2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業	0	
	「必4」市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
.לע	[必6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
1	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【&10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【必11】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	<b>事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業</b>		
	[&12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	A P W THE PROPERTY PROPERTY CONTINUES.		
有	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。	0	
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark> 実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	-	
成	予算の繰越の有無無		
度	【達2】「予算の繰越がある場合、繰越の種別」		
Ê	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其大体等の由で紹介。重複する車数車業がなる		
効	【効2】 本本心泉の中で対域・主後する事効争未がある。 【事業名】		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。	0	
性	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	1.3021 コヘドに元日 ノに別木となりていない。別木を取り込むことにコヘドを削減する木地がある。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

ſ		需用費関係については引き続き経費の削減に努める。
- 1		スクールバスと行政バス、路線バス、福祉バス等の調整を行っていく。
- 1		市直営のスクールバスについて、業務委託が可能かどうか検討を行っていく。
ſ		【状況】 計画のとおり進んでいる
١	昨年度の	【詳細】
١	取組状況	l ·
- 1	<b>拟粗</b> 1人沉	<b>│路線バス及び行政バス担当課と調整しながら業務を進めたが、経費削減に繋げることは出来なかった。今後はさらに福祉バス等も交え協議を重ねて行く。</b>
- 1		l ·

担当課長氏名	伊室	春利							
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】 スクールバス運輸	理由】  《クールバス運転嘱託員報酬のため削減の余地はない。現状のまま事業を継続していくことが妥当である。							
短期 その他	まれる。しかし、ス	現在、小中学校併せて約1億2千万円のスクールバス運行業務委託料を支出している。今後も、校区再編で新たにスクールバスが増加していくことが見込 それる。しかし、スクールバスが増加することは、路線バスや鉄道利用者利用者の減少につながり、市としては、スクールバス経費と路線バス等を維持させるための補填経費の増加で、それぞれ二重に経費が拡大する懸念がある。							
対する収音策		いては引き続き約	<b>圣費の削減に努める。</b>	政バス、路線バス等の調整を行っていく。					

1次評価のみ

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名 758		小学校療育!	療育学級整備事業		款	10	教育費			
					項	02	小学校費			
基本	31	個性を伸げ	目	01	学校管理費					
施策	31	細目	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める				学校管理経	費		
行革ノ	は縄の1	重点事項番号	7		細々目	01	療育学級経	費		
担当部	钾夕	450300		50300	担当者氏名	百	田貴子	連絡先	47 -	1282
꼬크라	<b>麻竹</b>	名称	教育委員会	会学校教育課	四日日氏在	l ¤'	四 貝丁	连附兀	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)				小学校	<b>交療育学級入級</b>	股児童 <b>※対象件数</b>			
成果(どうする)			長期の	期の入院時において、病院内で学習指導を受けることができる					
根拠法令•要綱等			等	学校教	<b>対育法</b>				
開始年 終了年		平成 平成	16	年度 年度	関連事業				
H23 事 業 内 容				吸児童( 学習環 <sup>は</sup>	の学習支援 竟整備				
社会情 変化									

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

		之此。
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

連		の建設」「施設の管理・運営」のみ記人)	
	運営主体		
1	(委託先)	[	]
2	配置人員		人
3	年間運営費		千円
4	市内の 類似施設		

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

I		指標名	単位	実績値				目標値			
	活	111宋位	平位		H22		H23	H24	H25		
	動	療育学級入級児童数	1	目標	2	目標	2	9	0		
ı	指	惊目子	^	実績	0	実績	0		2		
	標			目標		目標					
				宝结		宝结					

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	目標値			
成	1111年12	旧様政定の考え力	平四	H22		H23		H24	H25
果		長期の人院中でも字習を保障する場として設 置されているため、その活用割合を指標とし	%	目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0
指	できた割合	直されているにめ、その活用制音を指標とし た	90	実績	100.0	実績	100.0	100.0	100.0
標				目標		目標			
				宝结		宝结			

			H22	決算	H23	決算	H24 当初予算	H25 当初要求
40.		直接事業費計(A)		(千円)		(千円)	(千円) <b>5</b>	) (千円) 5
投	Α	国庫支出金						
ᅵᄾᅵ	6	県支出金						
7	財源	地方債						
ĥ	内	その他						
•	訳	一般財源		0		0	5	5
		事業投入人件費(B)	0.1 人	720	0.1 人	720	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)		720		720	725	725

# 事務事業の評価(Check)

		判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	[必2]	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活 の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3]	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	【必4】	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	[必6]	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
'-	[珍8]	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
ı	[必9]	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
ı	[必10]	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[必11]	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
		事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[必12]	【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
		財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[Æ13]	【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
		基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
		サービス水準や対象を見直す余地がある。		
		当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善	善策】	
ᇔ		予算の繰越の有無 <b>無</b>		
度	【達2】	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
_	【効1】	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
		基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
	【効2】	【事業名】		
率性	【効3】	受益者負担を求めることができる事業である。		
狂		全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
		コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
		- THE STANFORD OF THE OWNER WAS ALL CHIMMAN OWNER MAD		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	上野総合	上野総合市民病院と連携して、病気により適切な療育学級への入級を提示できるようにする。									
昨年度の	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいない									
取組状況	療育学級	への入級希望児童生徒がいなかったため、具体的な検討は行っていない									

担当課長氏名	岩嵜	清悟						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】	理由】						
	入級希望者がい	級希望者がいる場合を想定して予算措置をしておく必要がある.						
現時占における								
課題、その他	伊賀市内において上野市民病院にかわる受入病院を確保できていない。							
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、	上野市民病院と	連携して、病気に	より適切な療育学級への入級を提示で	きるようにする。				
何を、どうする)								

	コード		名	称	区分	コード		名		称	
					会計	01	一般会計				
事業名	事業名 759 小学校健康管理事業					10	教育費				
						02	小学校費				
基本	31	個性を伸げ	目	01	学校管理費						
施策	31	国はる出る	し、多を担い不の	られる教育を進める	細目	416	学校保健衛				
行革オ	行革大綱の重点事項番号						健康管理経費				
担当部	钾夕	コード	<b>コード</b> 450100		担当者氏名	扫口	岡 香穂	連絡先	47	- 1280	
현크하	床口	名称	教育委員:	会教育総務課	担当有风石	福岡 香穂		建耐兀	(内線)	564	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	能	を、何を)	市内小	小学校児童	※対象件数	4, 776人			
成果(どうする)			健康管	ままでは、健康に学校生活を送ることができる。					
根拠法令・要綱等			学校倪	<b>呆健法、学校保</b>	健法施行規則				
開始年 終了年		平成 平成	年度 年度	関連事業					
H23 事 業 内 容		医薬材料費 学校環境衛		当					
社会情変化									

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

<u> </u>		/注政]' 走佣于木] ///。
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

埋	3体制() 施設(	の建設」「施設の官理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	Γ		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目標値			
活	1111年12	一 平 四		H22		H23	H24	H25		
動	(現場会の世界)		目標	2	目標	2	2	2		
指	保健室用物品の共同購入		実績	2	実績	2				
標			目標		目標					
			宝结		宝结					

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	目標値			
成	1617471	111未以足の方え力	<u> </u>		H22		H23	H24	H25
果	児童一人当たりの健康管理経費	分子:健康管理経費 分母:児童数	円	目標	900	目標	900	900	900
指	児里一人ヨたりの健康官理程度	万丁:健康官理程复 万母:九里数	17	実績	910	実績	898	900	900
標				目標		目標			
				宝结		宝结			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	直接事業費計(A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.			4,364	4,374	5,034	5,034
投	Α	国庫支出金				
💁	၉	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
'	訳	一般財源	4,364	4,374	5,034	5,034
		事業投入人件費(B)	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	5.084	5.094	5.754	5.754

# 事務事業の評価(Check)

		判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	必	1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
		2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
		特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	[必	1 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	[必	5] 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
必	[必	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	[必	7】民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
'-	[必	3】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必	D] 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	[Æ]	0] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[Æ]	1] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
		事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[Æ1	2]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
		財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[Æ1	3]【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
-	174	3 古功古典《始终》生术市队中位大古队 7 m l v		
	_	1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
1		2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性		引サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達	】 当初設定した計画を <mark>100% 実施</mark> している。  【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
成度	【達	2] 予算の繰越の有無 <mark>無                                  </mark>		
	【効	1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
		其大協策の中で類似。 重複する事務事業がなる		
効	【効:	[事業名]		
率性	【効:	3] 受益者負担を求めることができる事業である。		
性	_	4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
		5] コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

ドナスツ川	
改善策	校医、薬剤師、保健所との連携を深めるとともに学校内の保健委員会を十分機能させ、さらに効果的な健康管理と情報提供を進めます。
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】
取組状況	学校環境衛生管理基準に基づき定期的な衛生検査を行った。

担当課長氏名	伊室	春利		
	【方向性】		現状維持	
事業の方向性	プール及び飲料	水の水質検査、圏	医薬材料費の経費のため、削減の余地	はない。継続して実施していくことが妥当である。
現時点における課題、その他	校医、薬剤師、倪	<b>呆健所との連携を</b>	深め、効果的な健康管理と情報提供を	進める必要がある。
	校医、薬剤師、倪		か必要な経費である。 深めるとともに学校内の保健委員会を	十分機能させ、さらに効果的な健康管理と情報提供を進める。

	コード	名称			区	分	コード		名		称
						:計	01	一般会計			
事業名	760	小学校健康	小学校健康管理事業			飲	10	教育費			
						頁	02	小学校費			
基本	31	個州な仲げ	華を迫い求め	られる教育を進める	E		01	学校管理費			
施策	31	国はる出る	し、多で担い不の	られる教育を進める	細	目	416	学校保健衛	生管理紹	費	
行革大綱の重点事項番号			細々	々目	01	保健管理経	費				
扣水如	钾夕	<b>⊐ード</b> 450300		担当者	丘夕	百日	田 貴子	連絡先	47	- 1282	
担当部課名		名称 教育委員会学校教育課 <sup>18</sup>			担当有	<b>氏</b> 右	H	u 貝丁	建耐兀	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)				市内小	\学校児童		※対象件数	4,776
成果(どうする)		)	健康に	二学校生活を送	ることができる			
根拠	法令	・要綱	等	学校保	<b>R健安全法</b>			
開始年 終了年		平成 平成	16	年度 年度	関連事業			
H23 事 業 内 容	定就	期健康 学時傾	診断 康診	(内科•: 断	康診断 耳鼻科・眼科・ 前検診・マラソン			
社会情								

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

建品		の建設」「他設の官理・連宮」のみ記人)	
	運営主体		
1	(委託先)	[	]
2	配置人員		人
3	年間運営費		千円
4	市内の 類似施設		

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	票値
活	1111宋12	푸쓰		H22		H23	H24	H25
動	学校医による健康診断の実施回数(1校あ		目標	5	目標	5		
指	たり)	쁘	実績	5	実績	5	ວ	5
標			目標		目標			
			実績		実績			

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	目標値			
成	1617572	111未以足の考え力	<u> </u>	H22		H23		H24	H25
果	各学校における校医検診実施率	学校医による内科、歯科、耳鼻科検	%	目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0
指	谷子校にのける校区快形夫心学	診等の実施率を指標とした	%0	実績	100.0	実績	100.0	100.0	100.0
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
			(千円)		(千円)	(千円)
40.	直接事業費計(A)		24,571	24,526	25,238	25,238
投	Α	国庫支出金				
슥	၅	県支出金				
	財源	地方債				
ŀî	内	その他				
•	訳	一般財源	24,571	24,526	25,238	25,238
		事業投入人件費(B)	0.2 人 <b>1,440</b>	0.2 <b>人 1,440</b>	0.2 人 1,440	0.2 人 1, <b>440</b>
		フルコスト (A)+(B)	26,011	25,966	26,678	26,678

# 事務事業の評価(Check)

_			
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	【必2】 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	(必3) も利益が及ぶ事業		
	【必4】 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	【必6】 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
1	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【必10】事業開始からの目標·目的を概ね達成している事業		
	【め!1】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[必12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	202		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【必13】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	TO E O WIND HOW THE WAY		
友	【有1】 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
勃	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%</mark>   実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	基第 】	
成	「大きの」 予算の繰越の有無 無	B # 1	
度	【達2】【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其大体等の山で類似。重複する車数車業がある		
効率	【郑2】【事業名】		
桦	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
1±	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	本年度中にすべての学校で、校医、薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催するよう徹底します。 							
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】							
取組状況	すべての学校で学校医、学校薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催した。							

担当課長氏名	岩嵜 清悟								
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】 句性 I								
	本年度もすべての学校で、校医、薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催するよう徹底します。								
現時点における									
課題、その他	学校保健委員会の定期的な開催及び内容の充実。								
課題、その他に 対する改善策 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一									
(いつまでに、 何を、どうする)	学校保健委員会の開催状況を把握する。								

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名	761	小学校管理用備品整備事			款	10	教育費			
				項	02	小学校費				
基本	31	個性を伸げ	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める			01	学校管理費			
施策	31	個性を伸ばし、多を追い水のられる教育を進める細目		417	学校管理用	備品整備	事業			
行革ス	行革大綱の重点事項番号			細々目	01	学校管理用	備品整備	事業		
担当部	钾夕	コード 450100		担当者氏名	澤	■■■	連絡先	47	- 1280	
THE	<b>祘</b> 口	名称	教育委員会	会教育総務課	担当有人有	/ <sup>‡</sup>	日坦	连附九	(内線)	565

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)			児童及	児童及び教職員 ※対象件数				
成果(どうする)			学校0	や校の備品環境を整備し、適正な教育活動を行うことで、児童の心身の発達を助長する				
根拠法令・要綱等			小学村	<sup>交施</sup> 設整備指針	<b>+</b>			
開始年度 平成 終了年度 平成			年度 年度	関連事業				
H23 事業 内内容								
	社会情勢の							

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

<u> </u>									
1	建設用地								
2	建設面積 (延床面積)								
3	規模・構造								
4	総事業費	千円							

里落	<b>体制</b> ()施設(	の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位			責値		目相	票値
活	111宋1	平位		H22		H23	H24	H25
動	小学校備品購入	件	目標	50	目標	45	45	45
指	小子仪佣如蚺人	1+	実績	47	実績	29	40	
標			目標		目標			
			実績		実績			

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値		
成	1617572	111未以足の考え力	平区	ł	122		H23	H24	H25	
果	備品要望調査	学校が必要としている備品の調査を	回	目標	3	目標	2	1	1	
指		行い、教育環境の向上を目指す	쁘	実績	1	実績	1	'	'	
標				目標		目標				
				実績		実績				

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按学术其前(A)	6,952	5,510	5,034	5,100
投	Α	国庫支出金				
💁	၉	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
'	訳	一般財源	6,952	5,510	5,034	5,100
		事業投入人件費(B)	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	7.672	6.230	5.754	5.820

# 事務事業の評価(Check)

		判断の其後(計业項目にのさのはて/+*ナル)		備考欄(特記事項)
	[ F. N 4 1	判断の基準(該当項目にOをつけてください)		<b>加考惧(符配争</b> 块)
	LÆ)	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	(必2)	「(()女学網(ヤーフナイネット)を整備する事業		
	[遊3]	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	[必4]	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	(必5)	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
עיג	[必6]	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する   事業		
1	[必8]	・受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	
	[必9]	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	[必10]	1事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[ø]11	1 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
		事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[# <u>3</u> 12	【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	0	
		学校備品の管理は、学校の運営上欠かせないと判断される。		
		財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[øŽ13]	【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	0	
		学校運営が成り立たない可能性が非常に大きい		
有	【有1】	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	0	
効		基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		
性	【有3】	サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達		当初設定した計画を   100%   実施している。   【計画に遅れが生じている場合、改善	善策】	
成成	【達2	- 予算の繰越の有無   無		
度	F-t-L-1	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	[37]	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
効率	【効2】	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】		
椎	【効3】	受益者負担を求めることができる事業である。		
17	【効4】	全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	学校より必要備品の聞き取りを毎年行い、適正な管理を行っていく。							
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】							
取組状況	備品要望調査の結果により、限られた予算の中で、必要性、緊急性を重視しつつ購入することができた。							

担当課長氏名	伊室	春利						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】							
	適正な授業に見合った授業備品や学校施設備品の把握に苦慮している。 備品が老朽しており、処分や入替経費の増加に苦慮している。							
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	学校より必要備品の聞き取りを毎年行い、適正な管理を行っていく。							

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名	765	小学校就学	小学校就学援助事業			10	教育費			
					項	02	小学校費			
基本				目	02	教育振興費				
施策	31	国はる中は	スタで 担い不の	られる教育を進める	細目	637	教育振興経	:費		
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	就学援助費					
担当部	钾夕	コード		450300		百	田貴子	連絡先	47	- 1282
현크하	麻口	名称	教育委員	会学校教育課	担当者氏名	1 🖹	四 貝丁	建附元	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何 <sup>:</sup>	を)			困難な児童の保護者で要保護又は準要保護に該当する 入級する児童の保護者	※対象件数	657
成果(どうする)				保護者	音に就学に必要	な経済的援助をすることで、児童が安心して義務教育を受け	けることができる	
根拠法令•要綱等				学校教	<b></b> 文育法			
開始年 終了年		平成 平成	16	年度 年度	関連事業			
H23 事 業 内 容	1. <sup>±</sup> 付	学用品	費、通	9学用品		童生徒学用品費、通学費、学校給食費、修学旅行費、校外 学級就学奨励費の給付	舌動費、学校病医療	§費の給
社会情変化								

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

TE V		/定成」。正備于入10707 此八/
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

里语		の建設」「他設の官理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

		指標名	単位		実績	責値		目標値		
	活	7日1末1口	平位		H22		H23	H24	H25	
	動	就学援助費認定者数	人	目標	595	目標	580	580	E00	
	뒴	<b>从子</b> 抜助貝認足召数		実績	619	実績	598	560	580	
	標	特別支援教育就学奨励費認定者数	1	目標	68	目標	66	77	78	
Г		付別又饭软目机子哭励貸認定有剱	I ^	宝结	71	宝结	78	//		

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1417474		<u> </u>	H22		H23		H24	H25
果	適正認定率	基準(世帯全員の前年所得が生活保護基準 0.4 0.6 以内)従い済まに到完されている制 0.4		目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0
1百	<b>週上認足</b> 举	の1.2倍以内)従い適正に認定されている割 合	%	実績	100.0	実績	100.0	100.0	100.0
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		古位市業典記 (A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
An.		直接事業費計(A)	36,213	35,233	35,125	35,438
投	Α	国庫支出金				
🖒	႐ုစ္မ	県支出金				
コス	財源	地方債				
ļ ,	内	その他				
•	訳	一般財源	36,213	35,233	35,125	35,438
		事業投入人件費(B)	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>
		フルコスト (A)+(B)	39,813	38,833	38,725	39,038

# 事務事業の評価(Check)

(必2) 法律 係例は除く)で実施が義務付けられている事業	_				
[必2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活 の安全網(セーフティネット)を整備する事業 [必4] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業 [必4] たにとつての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するた め、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業 [あ5] 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業 [あ6] 薄、情報と機は、相談等を目的とした事業 [あ7] 薬、情報提供、相談等を目的とした事業 [必9] 市の個性、特色、機力を継ず、発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業 [あ9] 中の個性、特色、機力を継ず、発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業 [あ9] 市の個性、特色、機力を継ず、発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業 [あ9] 事業開始からの目標・目的を振わ達成している事業 [あ9] 事業開始からの目標・目的を振わ達成している事業 [あ9] 事業開始が必ずまでは、事業を休廃止した場合、ホーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由]  対欧状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [あ12] 【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [あ13] 「②をつけた場合、デンの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】  対欧状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [あ12] 【マーズ水準や対象を見直す字本がある。 「本13] 当初設定した計画を 1009 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 (22] 「予算の雑誌がある場合、機能の種別】 (24) 「本24 基本施策の中類似・重複する事務事業がある。 (24) 「本25 英本施策の中類似・重複する事務事業がある。 (24) 「本25 英本施策の中類似・重複する事務事業がある。 (24) 「本25 英本施策の中類似・重複する事務事業がある。 (24) 「本25 英本施策の中類似・重複する事務事業がある。 (24) 「本25 英雄と表述のほのによる事業である。 (35) 「会社会業のは、15 英雄と表述の種類による事業である。			判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
(必3) も利益が及ぶ事業		(必)	】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
したいないる今年。  [あ4] におくりの必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業  [あ5] 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業  [あ6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指  [あ7] 事業  [あ8] 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業  [あ9] 市の個性、特色、魅力を搬承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業  [あ10] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業  事業の割款や環境の変化により、事業ーズが満れていない事業  [あ12] 【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】  財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業  [あ13] 「〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  対政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業  [本13] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。  効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。  (本13] 当初設定した計画を   10096			リ女子船(パーノナイベット)を発揮する事夫		
180*3		[遊	対 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
「後8		[必	<ul><li>市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業</li></ul>		
必要性性		【必	i] 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
要性性	.tv.	[必			
[必8] 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業 [必10] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 [必11] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 [必12] [〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由] 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [必13] [〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由] 有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	要	[必			
[必10] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業 「必11] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 [必12] 【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】 財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 性 【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。 達 【連1】当初設定した計画を 【100% 【実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 【速2】予算の繰越の有無 [無	'-	[必8	] 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
[必12] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業 事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 [必12] [〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由]  財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [必13] [〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由]  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 (「有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。 達 [達1] 当初設定した計画を「100% 実施している。 [計画に遅れが生じている場合、改善策] 成 [達2] 予算の繰越の有無 無 「今算の繰越がある場合、繰越の種別] 「効1] 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 [効2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 [本業名] 「効3] 受益者負担を求めることができる事業である。 [効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。		[必9	)】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業 [必12] 【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】  財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 性 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。  達 [達1] 当初設定した計画を 1000% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】  「速2] 「予算の繰越がある場合、繰越の種別】 「  「効1] 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。 「効2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 「第2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 「第2] 「次3] 受益者負担を求めることができる事業である。 「効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。		_			
[必12] 【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】  財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業 [必13] 【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 住 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。  達 [達1] 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】  「達2] 予算の繰越がある場合、繰越の種別】		[4251	1] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業  [必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 ( [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。			事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業  [必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 ( [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。		[Æ1	2]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
[約13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 性 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。  達 [達1] 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】					
[約13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】  有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。 性 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。  達 [達1] 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】			財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
有 [有1] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		[4231			
(有2					
(有2	뒴	【右1	] 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
性 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。  達 [達1] 当初設定した計画を 100% 実施している。 [計画に遅れが生じている場合、改善策] 成 [達2] 予算の繰越がある場合、繰越の種別] [	魯			0	
達       100%       実施している。       計画に遅れが生じている場合、改善策】         成度       無 (孝2) 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】       無 (物1) 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。       (物2) 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。         (物3) 受益者負担を求めることができる事業である。       (物3) 受益者負担を求めることができる事業である。       (物4) 全体コストにおける負担構成は適正である。	帷				
成 [達2] 予算の繰越の有無 無	達			華笛】	<u> </u>
[ 予算の繰越がある場合、繰越の種別]         [ 効1] 他の事業主体の活用、事業移管が可能である。         (効2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。         [ 物3] 受益者負担を求めることができる事業である。         [ 効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。	虚			D	
【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。       (効2】基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。         「物2】基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。       (事業名】         【効3】受益者負担を求めることができる事業である。       (効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		【達2			
効 [効2] 基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 率 [効3] 受益者負担を求めることができる事業である。 [効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。	Ë	f ∂h 1			
<b>対</b> [本対2] [事業名]			其大体等の中で類似。重複する事故重要がなる		
[効3] 受益者負担を求めることができる事業である。       (         [効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。       ○	効	【効2			
[効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。	率	【数:			
	性			0	
12022 コンパーンには ンにがかになって マックマック おから 表がとび しに マコンパー に 口がり でいたが はってり					
		L	1 - ハニールロンにM水にのフてV、のV。M水に低いたびにて C-1ハニに口(株)の水にN.(D)の。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	審査基準を変更することは予算的に難しい。しかし、1.2倍を目安として弾力的に対応することで受給者を増やしていく。									
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】									
	F査基準を変更することは予算的に難しいが、離職による特別な事情を考慮して認定するなど、弾力的に対応した。									

担当課長氏名	岩嵜	清悟						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】							
	記童数の減少で認定者数は若干減少傾向にあるが、支給基準や支給額を維持するには予算の確保が必要である。 							
現時点における			*****					
課題、その他	審査基準を見直し、より多くの申請者が受給できるようにしてほしいとの声がある。							
(いつまじに、	審査基準を変更	することは予算的	りに難しいが、離職による特別な事情を	考慮して認定するなど、弾力的に対応していく。				
何を、どうする)								

1次評価のみ

	コード		名	陈	区分	コード		名		称	
					会計	01	一般会計				
事業名	772	中学校スクー	-ルバス運行事業		款	10	教育費				
					項	03	中学校費				
基本	基本 31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める			目	01	学校管理費					
施策	31	間はで呼ばい	スタで担い不のり4	る教育を進める	細目	415	学校管理経費				
行革オ	行革大綱の重点事項番号				細々目	02	スクールバス運転管理及び維持経費				
担当部	钾夕	コード	4501	450100		中i	西 克尚	連絡先	47 -	- 1280	
THIP	<b></b> 不口	名称	教育委員会教	<b>教育総務課</b>	担当者氏名	"	四 元问	连附九	(内線)		565

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何を)	スクー	・クールバスを導入している中学校の生徒及びその保護者 <b>※対象件数</b> 5校							
成果(どうする)			安心	・安全な通学を研	<b>雀保することができる。</b>						
根拠法令•要綱等											
	開始年度		年度								
終了年	- 度	平成	年度	MALTA							
H23 事 業 内容		くクールバ. くクールバ.		•							
		校区再総確保する			)通学距離が長くなっているため、スクールバスを運行することによって、安全	 全な登下校を					

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

TE N		7. 定成了。正備于不10707 66707
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

里耳	<b>体制</b> (一施設(	の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	]		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	栗値	
活 動 指	旧保口	平位	H22		H23		H24	H25	
	スクールバス利用生徒数	1	目標	355	目標	355	530	530	
	人グールハス利用工促致	^	実績	355	実績	355	330		
標			目標		目標				
			実績		実績				

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値		
成	月月末日	111未以足の考え力	4		H22		H23	H24	H25	
果	登下校時における生徒の事故件	スクールバスを導入することによって登下校	件	目標	0	目標	0	0	0	
指	数	時に不審者や交通事故から児童を守る		実績	0	実績	0	U	U	
標				目標		目標				
				実績		実績				

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		但按手未頁引(A)	79,608	81,463	106,983	107,000
投	Α	国庫支出金		1,124	7,098	7,000
4	၉	県支出金				
7 7	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	79,608	80,339	99,885	100,000
	事業投入人件費(B)		0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>
		フルコスト (A)+(B)	81,768	83,623	109,143	109,160

# 事務事業の評価(Check)

		_	
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	[必2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業	0	
	「必4」市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
.לע	[必6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
1	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【&10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【必11】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	<b>事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業</b>		
	[&12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[必13] 【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	A P W TO THE PARTY PROPERTY CONTINUES		
有	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。	0	
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark> 実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	-	
成	予算の繰越の有無無		
度	【達2】「予算の繰越がある場合、繰越の種別」		
Ê	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其大体等の由で紹介。重複する車数車業がなる		
効	【効2】 本本心泉の中で対域・主後する事効争未がある。 【事業名】		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。	0	
性	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	1.3021 コヘドに元日 ノに別木となりていない。別木を取り込むことにコヘドを削減する木地がある。		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

_	叶子及少叶	一個和木に坐り、収音水・砂状が配がたが
ſ		需用費関係については引き続き経費の削減に努める。
- 1		スクールバスと行政バス、路線バス、福祉バス等の調整を行っていく。
١		市直営のスクールバスについて、業務委託が可能かどうか検討を行っていく。
Ī		【状況】   計画のとおり進んでいる
١	昨年度の	
١	取組状況	
١	4X11117776	<b>┃路線バス及び行政バス担当課と調整しながら業務を進めたが、経費削減に繋げることは出来なかった。今後はさらに福祉バス等も交え協議を重ねて行く。</b>
- 1		

担当課長氏名	伊室	春利								
	【方向性】		現状維持							
事業の方向性	【理由】									
•	スクールバス運転	スクールバス運転嘱託員報酬のため削減の余地はない。現状のまま事業を継続していくことが妥当である。								
現時点における	現在、小中学校代	併せて約1億2千	万円のスクールバス運行業務委託料を	支出している。今後も、校区再編で新たにスクールバスが増加していくことが見込						
課題、その他										
サナスル羊体	課題、その他に 対する事業等 適正な車両の管理を今後も行っていく。									
	需用費関係につ  伊賀市の交通体 	いては引き続き続 系が22年度で再	圣費の削減に努める。 ■検討されていく中で、スクールバスと行	政バス、路線バス等の調整を行っていく。						

	コード		名	称	[2	区分	コード		名		称	
					É	会計	01	一般会計				
事業名	774	遠距離通学	E離通学バス利用事業			款	10	教育費				
						項	03	中学校費				
基本	31	個性を伸げ					01	学校管理費				
施策	31	回江で呼ばり	ン、多で 担い不めた	ひれる教育を延める	糸	細目	415	学校管理経	費			
行革オ	行革大綱の重点事項番号		7		細	マ目	08	遠距離通学	バス使用	料		
担业如	钾夕	450100		和水土	者氏名	中国	西 克尚	連絡先	47 -	- 1280		
担当部課	<b></b> 不 口	名称	教育委員会	会教育総務課	1보크1	日八石	44	当 九미	连附兀	(内線)	50	65

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰る	き、何を)	城東中	中学校(諏訪地	区)の生徒及びその保護者	<b>※対象件数</b> 11	1件
成果(どうする)		通学0	D安全が保障さ	れ、保護者の負担が軽減される。			
根拠法令・要綱等		・要綱等					
開始年終了年		平成 平成	年度 年度	関連事業			
H23 事 業 内 容	通学	のための乗	り合い	バス使用料のイ	<b>R</b> 障		
社会情変化		平成21年 調整中。	度から	諏訪地区生徒	及び三田地区の一部の生徒も乗合バスを		わせて

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

	MOI V   V 00 H7	
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

里语		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目標値			
活	111朱石	一 平 四		H22		H23	H24	H25		
動	<b>排助社会</b> 字数		目標	17	目標	17	12	12		
指	補助対象者数		実績	17	実績	16				
標			目標		目標					
			宔结		宝结					

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1617572			H22		H23		H24	H25
果	事故発生率	   時に不審者や交通事故から児童を	%	目標	0.0	目標	0.0	0.0	0.0
指	争叹光上学 	時に小番名や父週争成から元里を   中に	70	実績	0.0	実績	0.0	0.0	0.0
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.	但按爭未頁前(A)		1,632	1,536	1,728	1,200
投	Α	国庫支出金				
수	၅	県支出金				
	財源	地方債				
ŀ	内	その他				
	訳	一般財源	1,632	1,536	1,728	1,200
	事業投入人件費(B)		0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	2.352	2.256	2.448	1.920

# 事務事業の評価(Check)

			M. d. 188 dd 1 88 dd
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		
	【必2】個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	[必4] 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
.72	[必6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
'-	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【&10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【必11】 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【必12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	0	
	通学距離だけで考えれば、通常であればスクールバスを運行し、保護者負担が生じない状態であるため、保護者の負担を軽減するため必要と考える		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【必13】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
一分	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	基策】	
足成度	「達2」「予算の繰越がある場合、繰越の種別」	- <b>-</b>	
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
効	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 [効2] [事業名]		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。	0	
1±	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	スクール	バスと行政バス、路線バス、福祉バス等の調整を行っていく。
昨年度の	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいる
取組状況	諏訪線は	運行体系に変更なし。

担当課長氏名	伊室	春利							
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】 城東中学校(諏訪地区)の遠距離通学者の通学費の補助のため、削減はできない。現状のまま事業を継続していくことが妥当である。								
現時点における 課題、その他	けば、廃止対象 往路:路線バス(	東中学校設立の際、当初は諏訪から中学校までの専用スクールバスで登下校する話も出ていた。しかし、諏訪行きの路線バス乗客がこれ以上減っていば、廃止対象路線となってくるため、地元の要望もあり、一部路線バスでの運行となった。 路:路線バス(諏訪〜上野産業会館)、スクールバス(上野産業会館〜城東中学校) 路:スクールバス(城東中学校〜伊賀上野駅)、路線バス(伊賀上野駅〜諏訪)							
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	スクールバスと彳	<b>亍政バス、路線バ</b>	ス等の調整を行っていく。						

	コード		名	称	区分	コード		名		称		
		中学校健康管理事業			会計	01	一般会計					
事業名	775				款	10	教育費					
					項	03	中学校費					
基本	基本 31 個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める				目	01	学校管理経費					
施策	31	回江で呼ばり	し、多で足い不の	りんの教育と進める	細目	416	学校保健衛生管理経費					
行革ス	行革大綱の重点事項番号				細々目	01	健康管理経費					
担当部	钾夕	コード	<b>コード</b> 450100		担当者氏名	福	岡 香穂	連絡先	47	- 1280		
THE		名称	教育委員	会教育総務課	끄크림시집	T⊞1	叫官你	连附九	(内線)	564		

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何を)	市内中	中学校生徒		※対象件数	2,465人
成果(どうする)		健康領	管理が充実し、				
根拠	法令	・要綱等	学校的	呆健法、学校保	健法施行規則		
開始年 終了年		平成 平成	年度 年度	関連事業			
H23 事 業 内 容		医薬材料費 <sup>会</sup> 学校環境衛					
社会情変化		•					

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

<u> </u>		/定成」。正備于入10707 此八/
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

理		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

I		指標名	単位		実績	責値		目標値			
	活	111余位	平位		H22		H23	H24	H25		
	動	保健室用物品の共同購入	<u> </u>	目標	2	目標	2	0	0		
指	指	体性主用初加の共同購入	回	実績	2	実績	2	1 4			
	標			目標		目標					
			I	宝结		宝结					

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	目標値			
成	1617572	111未以足の方え力	1	H22		H23		H24	H25
果	生徒一人当たりの健康管理経費	八了, 健康等理权弗 八豆, 先往粉	円	目標	600	目標	600	600	600
指	工作   人当たりの健康官理科員	万丁.健康自连社员 万母.工促数		実績	631	実績	602	000	
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
45		直接事業費計(A)	(千円) 1,610	<sup>(千円)</sup> 1,538	(千円) 1,531	(千円) 1,531
投	Α	国庫支出金				
슥	၅ ရှ	県支出金				
7	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	1,610	1,538	1,531	1,531
		事業投入人件費(B)	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>
		フルコスト (A)+(B)	3,770	3,698	3,691	3,691

# 事務事業の評価(Check)

	如果できな(ナルセロにつもっけっけい)		
	判断の基準(該当項目にOをつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活		
	「		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	「必4」市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するた		
	<sup>1,804</sup>   め、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指   導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する   事業		
111	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	[め10] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[め11] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【Ø12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【必i3】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	-  【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark>  実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
成	アンカス 予算の繰越の有無 無		
度	【達2】「子の練皮がある場合、繰越の種別】		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
۱.,	甘大佐笠の山で箱川・重複オス東改車業がなる		
効	【効2】   本本心味の中で対似・主後する手術手来がある。   「事業名】		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
1±	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

ドナスツ川	「岡和木に坐り、吹音水・ツ水ヶ和ケバル						
改善策	校医、薬剤師、保健所との連携を深めるとともに学校内の保健委員会を十分機能させ、さらに効果的な健康管理と情報提供を進めます。						
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】						
100 44 12 08	学校環境衛生管理基準に基づき定期的な衛生管理に努めた。						

担当課長氏名	伊至	春利						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】  事業の方向性  プール及び飲料水の水質検査、医薬材料費の経費のため、削減の余地はない。継続して実施していくことが妥当である。							
現時点における課題、その他	校医、薬剤師、修	<b>呆健所との連携を</b>	深め、効果的な健康管理と情報提供を	進める必要がある。				
		!、健康管理のた& 呆健所との連携を	十分機能させ、さらに効果的な健康管理と情報提供を進める。					

1次評価のみ

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	1 一般会計			
事業名 776 中学校健康管理事業		款	10	教育費						
				項	03	中学校費				
基本	31	個性を伸げ	<b>並た泊い求め</b>	られる教育を進める	目	01	学校管理費			
施策	31	国はるはない	ハタで担い水の	りれる教育を進める	細目	416	学校保健衛生管理経費			
行革プ	く綱の!	重点事項番号			細々目	01	保健管理経	費		
担当部課名		<b>コード</b> 450300		担当者氏名	百日	田貴子	連絡先	47	- 1282	
변크라	<sup>珠石</sup> 名称		教育委員:	会学校教育課	担当有风石	"	四 貝丁	建附元	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

象校	対象(誰を、何を)		を)	市内中	 中学校生徒				※対象件数	2,465
7307 (MEC 11C)								71177	_,	
成果(どうする)			)	健康に	に学校生活を送	ることができる				
根拠法令•要綱等		等	学校倪	<b>R健安全法</b>						
開始年度 平成 16		年度 年度	関連事業							
終了年 H23	-及 ]	平成		牛及						
車	定	期健康	診断	(内科•:	康診断 耳鼻科・眼科・┇ 前検診・マラソン					
社会情 変化		)								

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

	正備では、これでには、正備できた。							
1	建設用地							
2	建設面積 (延床面積)							
3	規模・構造							
4	総事業費	千円						

連	連宮体制(「施設の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)								
	運営主体								
1	(委託先)	[	]						
2	配置人員		人						
3	年間運営費		千円						
4	市内の 類似施設								

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	票値
活	111宋1	平位		H22		H23	H24	H25
動	学校医による健康診断の実施回数(1校あ		目標	4	目標	4	4	
指	たり)		実績	4	実績	4	4	4
標			目標		目標			
			実績		実績			

	指標名	指標設定の考え方	単位		実	績値		目標値	
成	1617471	間保政というたり	4		H22	H23		H24	H25
	タ党技における技匠投診宇佐変	学校医による内科、歯科、耳鼻科検	%	目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0
指	各学校における校医検診実施率	診等の実施率を指標とした	%0	実績	R積 100.0 実績 100.0	100.0	100.0		
標				目標		目標			
				実績		実績			

						15.1 16
			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		古拉市業典社 /A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
40.		直接事業費計(A)	8,874	9,068	9,322	9,322
投	Α	国庫支出金				
슥	၅ ရှ	県支出金				
7 7	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	8,874	9,068	9,322	9,322
		事業投入人件費(B)	0.2 <b>人 1,440</b>	0.2 人 1,440	0.2 人 1,440	0.2 人 1, <b>440</b>
		フルコスト (A)+(B)	10,314	10,508	10,762	10,762

# 事務事業の評価(Check)

_			
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	【必2】 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	(必3) も利益が及ぶ事業		
	【必4】 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	【必6】 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
1	【必8】受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【必10】事業開始からの目標·目的を概ね達成している事業		
	【め!1】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[必12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	202		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【必13】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	TO E O WIND HOW IN THE STATE OF		
友	【有1】 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
勃	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%</mark>   実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改	基第 】	
成	「大きの」 予算の繰越の有無 無	B # 1	
度	【達2】【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其大体等の山で類似。重複する車数車業がある		
効率	【郑2】【事業名】		
桦	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
1±	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

「「一大人」「「一世也大に全し、人は古来」のなりになっていた。									
改善策	本年度中にすべての学校で、校医、薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催するよう徹底します。								
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】								
取組状況	すべての学校で学校医、学校薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催した。								

担当課長氏名	岩嵜	清悟							
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】								
	本年度もすべての学校で、校医、薬剤師、保健所などの専門機関と連携した学校保健委員会を開催するよう徹底します。								
現時点における									
課題、その他	学校保健委員会	の定期的な開催	及び内容の充実。						
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	学校保健委員会	の開催状況を把	握する。						

	コード		名	称	区分	コード		名		称	
					会計款	01	一般会計				
事業名	777	中学校管理	理用備品整備事業			10	教育費				
					項	03	中学校費				
基本	31	個性を伸げ	華を追い求めば	られる教育を進める	目	01	学校管理費				
施策	31	回江で呼ばり	ン、多で担い不のだ	ひれる教育を延める	細目		学校管理用				
行革大綱の重点事項番号			細々目	01	学校管理用	備品整備	事業				
担当部	钾夕	ュード		450100		澤	■■■	連絡先	47	- 1280	
ᄪᆿᇚ	<b>森</b> 1	名称	教育委員会	会教育総務課	担当者氏名	<sup>/‡</sup>	日坦	连附九	(内線)	565	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰を	、何を)	中学校	交の生徒および	教職員	※対象件数		
成果(どうする)			施設な	<ul><li>施設が充実し、教育活動が円滑に実施できることで、快適な学校生活が送れる。</li></ul>				
根拠法令・要綱等			中学	<b>交施設整備指</b>	針			
開始年 終了年			年度 年度	関連事業				
終了年度     平成       H23     事業       内容     学校行事等教			活動を	・円滑に行うため	のの防災用備品等、管理用備品の整備を行った。			
社会情勢の変化等								

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

TE V		
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

<b>E</b> 2		の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	Γ		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	栗値			
活	111末位	平位		H22		H23	H24	H25			
動	備品購入数	件	目標	37	目標	35	20	20			
指		1+	117	1+	1+	実績	35	実績	14	20	20
標			目標		目標						
			宝结		宝结						

	指標名	指標設定の考え方	単位	5	<b>尾積値</b>	目標値		
成	1617470	111未以足の考え力	1	H22		H23	H24	H25
果	備品要望調査	学校が必要としている備品の調査を		目標	1 目標	2	1	1
指		行い、教育環境の向上を目指す	쁘	実績	1 実績	1	'1	'
標				目標	目標			
				実績	実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
			(千円)		(千円)	(千円)
40.		直接事業費計(A)	3,897	2,366	3,554	3,600
投	Α	国庫支出金				
4	6	県支出金				
7	財源	地方債				
,	内	その他				
•	訳	一般財源	3,897	2,366	3,554	3,600
		事業投入人件費(B)	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	4,617	3,086	4,274	4,320

# 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備者欄(特記事項)
[以1] 法律(各	刊前の基準(欧ヨ場古にOをプリでへにCい) 別は除く)で実施が義務付けられている事業		畑つ頂(140字久/
「スの」個人のブ	がはいく、C天地が製品でいる。この事業 だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活  (セーフティネット)を整備する事業		
	民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に 及ぶ事業		
	っての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するた だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
【必5】市民がネ	会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
【必6】道 情報	命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指 提供、相談等を目的とした事業		
必要[必7] 民間のサ	・一ビスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する		
└	囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	
【必9】市の個性	、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
【必10】事業開如	からの目標・目的を概ね達成している事業		
【必11】国や県、	民間が同様のサービスを提供している事業		
事業の対	象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【必12】【〇をつ	ナた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	0	
学校備品	の管理は、学校の運営上欠かせないと判断される。		
	を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【必13】【Oをつ	けた場合、影響の内容及び判断理由】	0	
	ができなくなる。		
有【有1】事務事業	の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	0	
	の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。		
	水準や対象を見直す余地がある。		
_	した計画を <mark> 100%                                   </mark>	善策】	
成 予管の名	identification   Id		
. I(1数7)	果越がある場合、繰越の種別】		
	主体の活用、事業移管が可能である。		
其 太 体 智	の中で類似・重複する事務事業がある。		
効 【効2】 <sub>7亩金々1</sub>	to a statute members of a saw at state on on		
363	担を求めることができる事業である。		
14-	トにおける負担構成は適正である。		
I I I WOU - A PIC.	5日ンに別示しなフミッグ・0 NJ示さ取りたりにして1711で門続すで示地が00で。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	学校より必要備品の聞き取りを毎年行い、適正な管理を行っていく。 
昨年度の	【状況】     計画のとおり進んでいる       【詳細】
取組状況	備品要望調査の結果により、限られた予算の中で、必要性、緊急性を重視しつつ購入することができた。

担当課長氏名	伊室	春利						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】							
	学校施設の充実	学校施設の充実のため継続して行うことが妥当である。						
理味点にかける	滴正か! 選に目	<b>今った博業借</b> 見る	当技体乳供日の物程に共産している					
	適正な授業に見合った授業備品や学校施設備品の把握に苦慮している。 備品が老朽しており、処分や入替経費の増加に苦慮している。							
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)								

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名 779 中学校就学援助事業				款	10	教育費				
					項	03	中学校費			
基本	31	個性を伸げ				02	教育振興費			
施策	31	国はる別は	し、多で足い水の	細目		637	教育振興経費			
行革大綱の重点事項番号					細々目	01	就学援助費			
担当部	钾夕	<b>コード</b> 450300			担当者氏名		田貴子	連絡先	47 -	- 1282
교크라	床巾	名称	教育委員	会学校教育課	四日日氏名	日田 貴子		建附兀	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何	を)			困難な生徒の保護者で要保護又は準要保護に該当する 入級する児童の保護者	※対象件数	399
成果(どうする)				保護者	音に就学に必要	な経済的援助をすることで、生徒が安心して義務教育を受	けることができる	
根拠法令•要綱等				学校教	<b>汝育法</b>			
開始年終了年		平成	16	年度 年度	関連事業			
H23 事業 内容			費、通	9年日		童生徒学用品費、通学費、学校給食費、修学旅行費、校外 級就学奨励費の給付	活動費、学校病医療	- 装費の給
社会情変化								

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

<u></u>										
1	建設用地									
2	建設面積 (延床面積)									
3	規模·構造									
4	総事業費	千円								

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

建品		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

ſ		指標名	単位		実績	責値		目標値		
ı	活	111末位	平位		H22		H23	H24	H25	
ı	動	就学援助費認定者数	1	目標	385	目標	380	360	360	
ı	指標		_ ^	実績	384	実績	371		300	
ı		<b>与</b> 特別支援教育就学奨励費認定者数	人	目標	35	目標	35	39	40	
		付別又拨叙目机子哭励貸認疋有剱		宔结	38	宝结	30	39	40	

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1H1X-11	間保政というたり	1	H22		H23		H24	H25
果	適正認定率	基準(世帯全員の前年所得が生活保護基準	%	目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0
指	過止認足学	の1.2倍以内)従い適正に認定している割合		実績	100.0	実績	100.0		
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
投入コ		直接事業費計(A)	(千円) 38,149		(千円) 36,655	<sup>(千円)</sup> 36,940
	Α	国庫支出金				
	စ္မ	県支出金				
コス	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	38,149	37,662	36,655	36,940
		事業投入人件費(B)	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>	0.5 <b>人 3,600</b>
		フルコスト (A)+(B)	41,749	41,262	40,255	40,540

# 事務事業の評価(Check)

		dollar a de the CEL do at the contract to be a second		W. do 100 / d.t. 25 -do -7 \
	<b>.</b>	判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
	[必1]	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	[必2]	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3]	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	[必4]	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
	[必6]	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	[必7]	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
II	[必8]	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】	市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
		事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[必11]	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
		事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[必12]	【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
		財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[必13]	【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	【有1】	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
		基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
		サービス水準や対象を見直す余地がある。		
		当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善	<b>基</b> 第 】	1
成		予算の繰越の有無無		
度	【達2】	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
	【効1】	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	rako 1	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。		
勿	【効2】	【事業名】		
効率性	【効3】	受益者負担を求めることができる事業である。		
性		全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
		コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	審査基準を変更することは予算的に難しい。しかし、1.2倍を目安として弾力的に対応することで受給者を増やしていく。 						
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】						
	査基準を変更することは予算的に難しいが、離職による特別な事情を考慮して認定するなど、弾力的に対応した。						

担当課長氏名	岩嵜	清悟		_					
事業の方向性	【方向性】		現状維持						
	【理由】								
	生徒数の減少で認定者数は若干減少傾向にあるが、支給基準や支給額を維持するには予算の確保が必要である。								
現時点における									
課題、その他	審査基準を見直し、より多くの申請者が受給できるようにしてほしいとの声がある。								
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	審査基準を変更することは予算的に難しいが、離職による特別な事情を考慮して認定するなど、弾力的に対応していく。								

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名 786 私立幼稚園就園奨励事業				款	10	教育費				
				項	04	幼稚園費				
基本				目	01	幼稚園費				
施策	31	国日と下る	し、多で迫い不め	りんの教育を進める	細目	426	園管理経費	園管理経費		
行革大綱の重点事項番号				細々目	02	私立幼稚園就園奨励費				
担当部	钾夕	П 1	45	50100	担当者氏名	中i	西 克尚	連絡先	47	- 1280
担当部	床巾	名称	教育委員:	会教育総務課	四二日氏石	<sup></sup> '	四 九미	建附兀	(内線)	565

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何を)	私立约	私立幼稚園就園児及びその保護者 <b>※対象件数</b> 5						
成果(どうする)			幼稚園	<b>力稚園への就園を奨励し、経費負担を軽減する。</b>						
根拠	l法令	·要綱等	私立约	<b>力稚園就園奨</b> 励	費補助金交付要領					
開始年度 平成 終了年度 平成			年度 年度	関連事業						
H23 事 業 内 容	私立	幼稚園就園	3児の係	<b>保育料減免を保</b>	護者の所得に応じて実施					
社会情変化		扶養控除	の制度	改正により補助	かの基準を変更する必要がある。					

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

TE V		7. 定版了。 正備于不10707 能707
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

連四	<b>写体制</b> ( ) 施設(	の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名	単位		実績	責値		目相	栗値
活	7日1末12	一 平 四		H22		H23	H24	H25
動	保育料減免実施件数	件	目標	140	目標	140	140	140
指	休月科·		実績	146	実績	131		
標			目標		目標			
			宝结		宝结			

	指標名	指標名 指標設定の考え方		実績値				目標値		
成	]H1x1	111未以足の考え力	単位		H22		H23	H24	H25	
果 指	保育料の減免達成率	国の基準に対する減免率	%	目標	100.0	目標	100.0	100.0	100.0	
	休月科の	国の基準に対する減光率		実績	100.0	実績	100.0	100.0	100.0	
標				目標		目標				
				実績		実績				

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
		直接事業費計(A)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
An.		但按手未頁訂(A)	14,312	13,210	15,103	15,300
投	Α	国庫支出金	3,366	3,173	5,034	5,100
숙	၉	県支出金				
7	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	10,946	10,037	10,069	10,200
		事業投入人件費(B)	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>	0.3 <b>人 2,160</b>
		フルコスト (A)+(B)	16.472	15.370	17.263	17.460

# 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	刊町の基準(設当項目にしをづけてください) 【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		据与惧\特配争块/
	個しのもだけでは対処し得かい社会的。奴文的記者を対象に、たびの中でも本様し、まていけたば		
	Lao2] の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	[必3] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者に も利益が及ぶ事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	0	
	[必6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	[必7] 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
1 1 =	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	[Ø10] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【めい】 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	0	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	[必12]【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	[必13]【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有	-  【有1】 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効	[有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	[有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark> 実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
成	予算の絶対の有無		
度	【達2】「子の練送がある場合、繰越の種別】		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其大体等の中で紹介。 重複する車数車業がなる		
効	[効2] 本子心及び中で対似・主後する手効手来がある。 「事業名」		
率	「効3」 受益者負担を求めることができる事業である。		
性	[効4] 全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	マンコーンコーンには グルーラン くく・・ウィ・0 とうたいだい ししし についまり でんだい のもの		

#### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

FI 1 (X-47 H)	
改善策	住民税における扶養控除の変更により、基準が大きく変わるため、国や周辺自治体の状況を見ながら検討していく。 
昨年度の	【状況】       【詳細】
	国の単価基準を準用し減免等を行った。

担当課長氏名	伊室	春利						
	【方向性】		現状維持					
事業の方向性	【理由】	して位置づけられ	ているので、継続して事業を行うことが	妥当である。				
現時 スの他	るため、本事業の	日年、国の減免単価基準が増加傾向にある。しかし、伊賀市内の私立幼稚園2園(白鳳幼稚園、青山よさみ幼稚園)は、入園料・保育料共に低い基準であため、本事業の目的の一つである「公立幼稚園との保育料負担格差の是正」以上の減免額となることがあり、当市の私立幼稚園に関していえば適正な 単価基準であるとはいえない。						
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	国の基準適正な	単価基準であるが	かの検討をしていく。					

1次評価のみ

	コード		名	称	区分	コード		名		称					
						01	一般会計								
事業名	787	幼稚園保健衛生管理事業				787 幼稚園保健復	<b>園保健衛生管理事業</b>		款	10	教育費				
						04	幼稚園費								
基本	31	(田性も仲)(ゴ) - 夢も迫いせめこれて教育も進めて			目	01	幼稚園費								
施策	31	31 個性を呼ばし、多を追い不められる教育を進め	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める				園保健衛生	管理経費	Ì						
行革大綱の重点事項番号		<del>]</del>		細々目	01	園保健衛生	管理経費	Ì							
担当部	钾夕	コード	45	450100		ᇷ	岡 香穂	連絡先	47 -	1280					
ᄪᆿᅖ	<b></b> 不力	名称	教育委員会	会教育総務課	担当者氏名	福岡 香穂		建附兀	(内線)	564					

# 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)			市立组	市立幼稚園 ※対象件数 184人						
成果(どうする)		健康管	管理が充実し、	建康に園生活を送ることができる。						
根拠法令•要綱等		学校的	<b>呆健法、学校保</b>	健法施行規則						
開始年 終了年		平成 平成	年度 年度	関連事業						
	H23   事									
社会情勢の変化等										

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

TE V		/定成」。正備于入10/0/10/1/
1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

埋	3体制() 施設(	の建設」「他設の官理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活	指標名	単位		績値	目標値		
			H22	H23	H24	H25	
動			目標	目標			
指			実績	実績			
標			目標	目標			
			実績	実績			

ſ		指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
ı	成	1H1X12	111未以足の考え力	4	H22		H23		H24	H25
ı	果	園児一人当たりの衛生管理経費	八字, 答理奴弗 八点, 唐旧粉	1 ш 1	目標	595	目標	580	I 580I	580
ı	指	国元一人ヨたりの  日王官珪社員	万丁:官连柱复 万英:图光数		実績	589	実績	592		360
ı	標				目標		目標			
ı					実績		実績			

			H22 決算	H23	決算	H24 当初予算	H25 当初要求
投		直接事業費計(A)	( <del>1</del> 1		(千円) 109	(千円) 107	(千円) 110
	Α	国庫支出金					
💁	၅ ရ	県支出金					
	財源	地方債					
l î	内	その他					
•	訳	一般財源	10	6	109	107	110
	事業投入人件費(B)		0.1 <b>人 72</b>	0 0.1 人	720	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	82	6	829	827	830

# 事務事業の評価(Check)

			M. d. 188 / d. 80
	判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】 法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	【必2】個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	(必3) 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	【必4】 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】 市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
אה	[必6] 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	【必7】 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する 事業		
1-	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【必10】事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	【必11】 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【必12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	【必13】【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	TO E TO THE COUNTY OF THE PARTY		
友	【有1】 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
勃	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
一件	【有3】サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達	【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark> 実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	基第 ]	
成	ア	D	
度	【達2】「予算の繰越がある場合、繰越の種別】		
-	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
	其太体等の山で類似。重複する事務事業がなる		
効	【効2】 基本心臓のでも対応・主後する手切子未がある。 【事業名】		
率	【効3】受益者負担を求めることができる事業である。		
性	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	TW-7		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

F1 1 (AC *7 H1										
改善策	園医、薬剤師、保健所との連携を深めるとともに学校内の保健委員会を十分機能させ、さらに効果的な健康管理と情報提供を進めます。									
昨年度の	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】									
砂组件识	学校環境衛生管理基準に基づき定期的な衛生管理に努めた。									

担当課長氏名	伊室	春利							
	【方向性】		現状維持						
事業の方向性	【理由】								
	プール及び飲料	プール及び飲料水の水質検査、医薬材料費の経費のため、削減の余地はない。継続して実施していくことが妥当である。							
現時点における	校医、薬剤師、係	保健所との連携を	深め、効果的な健康管理と情報提供を	進める必要がある。					
課題、その他	大色、未別師、体度所での足房で体の、別本町で度像自在CITTATE内で足のものです。								
	園児の衛生管理、健康管理のため必要な経費である。   園医、薬剤師、保健所との連携を深めるとともに、さらに効果的な健康管理と情報提供を進める。								

1次評価のみ

	コード		名	称	区分	コード		名		称
				会計	01	一般会計				
事業名	788	幼稚園健康	康管理事業		款	10	教育費			
					項	04	幼稚園費			
基本	31	個性を伸ばし、夢を追い求められる教育を進める			目	01	幼稚園費			
施策	31	国はる別は	スタを担い不めら	いんの教育を定める	細目	427	園保健衛生管理経費			
行革ノ	行革大綱の重点事項番号		7		細々目	01	園保健衛生	管理経費	Ī	
担当部	钾夕	コード	450	0300	担当者氏名	百	田貴子	連絡先	47	- 1282
변크라	床巾	名称	教育委員会	<b>€学校教育課</b>	四二十五五	l "'	四 貝丁	注附兀	(内線)	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	対象(誰を、何を)		幼稚園	園就学児			※対象件数	220
成果(どうする)		健康に	こ園生活を送る	ことができる				
根拠	根拠法令・要綱等			呆健安全法				
開始年 終了年		Z成 16 Z成	年度 年度	関連事業				
H23 事 業 内	H23 事 園医による児童の健康診断 定期健康診断(内科・歯科) 入園時健康診断							
社会情変化								

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模·構造	
4	総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」(施設の管理・運営」のみ記入)

理		の建設」「他設の官理・連名」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	[		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活	指標名	単位	実績値				目標値			
	1111余12	平位		H22	H23		H24	H25		
	動	園医による健康診断の実施回数		目標	4	目標	4	4		
	指	国区による健康形例の美胞回数		実績	4	実績	4	4	1	
	標			目標		目標				
				実績		実績				

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値	
成	1617572	間保政というたり	1	H22		H23		H24	H25
果	園おける検診実施率	園医による健康診断の実施率を指	%	目標	100.0	目標	100.0	100 01	100.0
指	図のいる快衫夫心卒	標とした		実績	100.0	実績	100.0		100.0
標				目標		目標			
				実績		実績			

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	直接事業費計(A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
An.			873	728	893	893
投	Α	国庫支出金				
4	၅	県支出金				
	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	873	728	893	893
		事業投入人件費(B)	0.2 <b>人 1,440</b>	0.2 人 1,440	0.2 <b>人 1,440</b>	0.2 人 1, <b>440</b>
		フルコスト (A)+(B)	2.313	2.168	2.333	2.333

# 事務事業の評価(Check)

	如果できる。 マーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		# ***   ## / #+ = * ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **
	判断の基準(該当項目にOをつけてください)		備考欄(特記事項)
	【必1】法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	0	
	【必2】個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
	【必3】特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
	【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
.72	【必6】市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必要性	[必7] 民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業		
'-	【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業		
	【必9】 市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
	【め10】 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
	[め11] 国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
	【必12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
	「必13」【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
	100 100 2017に初日、お音の打古人の刊刻を出る		
麦	  【有1】事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
加加	【有2】基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性	[有2] 墨本ル泉の日間を失ぬするために現在の事務事業の内容は過期であり、墨本ル泉に対して貢献度も同じ。  [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。		
틒	【南の「ケーヒベバギ と対象と光道 9 末地がめる。  【達1】 当初設定した計画を <mark> 100%  </mark>  実施している。  【計画に遅れが生じている場合、改	<b>菲笙</b> 】	
達	「注: 」 三切設定した計画を	古來』	
成			
及	「予算の繰越がある場合、繰越の種別」   「「「「「」」   「「」 「「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「		
	【効1】他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		
効	基本施策の中で類似·重複する事務事業がある。 [効2] 【本意名】		
率	[ 【學来名】		
性	【効3】 受益者負担を求めることができる事業である。		
	【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。	0	
	【効5】 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
	Town to the committee as as as a substitution and a set of the company of the com		

# 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善	策	本年度中	に園保健委員会を定期的に開催できるよう組織作りを進めます。
昨年	度の	【状況】 【詳細】	計画のとおり進んでいない
取組	状況	関係機関	と連携した情報交換の機会をもつことができたが、組織化にはいたらなかった。

担当課長氏名	岩嵜	清悟							
	【方向性】		現状維持						
	事業の方向性 学校医等の配置は法令で規定されており、園児個々の健康状態を的確に把握するためにも現状を維持することは必要である。								
現時点における									
課題、その他	園医、薬剤師、係	R健所との連携を	深め、適切に対処することができたが、	保健委員会の定期的な開催により、危機管理体制を充実させる必要がある。					
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、 何を、どうする)	本年度、園保健:	 委員会を定期的に	こ開催できるよう組織作りを進める。						

	コード		名	称	区分	コード		名		称
					会計	01	一般会計			
事業名	789	園管理用備	園管理用備品整備事業				教育費			
	項					幼稚園費				
基本	31	個性を伸げ	華を追い求め	られる教育を進める	目	01	幼稚園費			
施策	31	回圧を呼ばり	スタで担い不の	りれる教育を延める	細目	428	園管理用備	品整備事	業	
行革ノ	大綱の重点事項番号			細々目	01	園管理用備	品整備事	業		
中水型	钾夕	コード	•		担当者氏名	澤	■■■■	連絡先	47	- 1280
担当部課名		<b>名称</b> 教育委員会教育総務課 <sup>1</sup>		四二日氏石	7	1 日坦	建附兀	(内線)	564	

# 事務事業の概要(Plan)

対象	(誰	を、何を)	幼稚園	園の園児・教職	員 <b>※対象件数</b>
成果(どうする)			園の値	<b>帯品環境を整備</b>	することで設備の充実につながり、快適な園生活が送れる。
根拠	法令	・要綱等	幼稚園	<b>園施設整備指針</b>	†
開始年 終了年		平成 平成	年度 年度	関連事業	
H23 事 業 内 容	幼稚	捷國行事等、	教育活	動を円滑に行う	うための管理用備品を整備する
社会情勢の 変化等					

### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1	建設用地	
2	建設面積 (延床面積)	
3	規模・構造	
4	総事業費	千円

里耳	<b>体制</b> (一施設(	の建設」「施設の管理・連宮」のみ記人)		
	運営主体			
1	(委託先)	]		]
2	配置人員		人	
3	年間運営費		千円	]
4	市内の 類似施設			

# 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

	指標名		実績値				目標値		
活				H22	H23		H24	H25	
動	幼稚園備品購入数	<i>II</i> +	目標	5	目標	5	5	5	
指	<b>划性图哺品牌八数</b>	1+	実績	7	実績	2	J	5	
標			目標		目標				
			実績		実績				

	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値				目標値		
成	1117471	間保政というたり	<u> </u>	H2	2		H23	H24	H25	
果	備品要望調査	園が必要としている備品の調査を行		目標	1	目標	1	1	1	
指		い、教育環境の向上を目指す	쁘	実績	1	実績	1	'1	'	
標				目標		目標				
				実績		実績				

			H22 決算	H23 決算	H24 当初予算	H25 当初要求
	直接事業費計(A)		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
An.			480	419	457	460
投	Α	国庫支出金				
4	၅	県支出金				
] ]	財源	地方債				
l î	内	その他				
•	訳	一般財源	480	419	457	460
		事業投入人件費(B)	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>	0.1 <b>人 720</b>
		フルコスト (A)+(B)	1,200	1.139	1,177	1.180

# 事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に〇をつけてください)		備考欄(特記事項)
【必1】法律(冬例は除く)で実施が萎落付けられている事業		NU -7 IN ( 14 HO -7 -30)
[必2] 個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業		
[必3] 特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業		
[必4] 市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業		
【必5】市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業		
「【必6】 市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業		
必		
「【必8】 受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	0	
【必9】市の個性、特色、魅力を継承・発展・創造し、あるいは国内外へ情報発信することを目的とした事業		
[&10] 事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業		
【&i1】国や県、民間が同様のサービスを提供している事業		
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【Ø12】【〇をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	0	
幼稚園備品の管理は、園の運営上欠かせないと判断される。		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
[Ø13]【〇をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	0	
幼稚園運営ができなくなる。		
有   【有1】 事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		
効 [有2] 基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	0	
性 [有3] サービス水準や対象を見直す余地がある。		
達 【達1】 当初設定した計画を   100%   実施している。   【計画に遅れが生じている場合、改	善策】	
古		
皮  [達2]  ア昇の繰越がある場合、繰越の種別]		
「私」、4000年業十分の江田 東美牧祭が可能でする		
本   【効3】 受益者負担を求めることができる事業である。		
性  【効4】全体コストにおける負担構成は適正である。		
【効5】コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。		
The state of the s		

### 昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	幼稚園より必要備品の聞き取りを毎年行い、適正な管理を行っていく。 
昨年度の 取組状況	【状況】 <mark>計画のとおり進んでいる</mark> 【詳細】
	備品要望調査の結果により、限られた予算の中で、必要性、緊急性を重視しつつ購入することができた。

担当課長氏名	伊室	春利		_	
	【方向性】		現状維持		
  事業の方向性	【理由】			,	
	幼稚園施設の充	実のため継続して	て行うことが妥当である。		
用吐上にかけて	海正な授業に目	<b>今った</b> 極業借りる	や幼稚園施設備品の把握に苦慮してい	Z	
			代列権國施設備品の記録に占慮してい 経費の増加に苦慮している。	<b>%</b> 。	
課題、その他に 対する改善策					
(いつまでに、 何を、どうする)		<b>備品の聞き取りを</b>	:毎年行い、適正な管理を行っていく。		